



# 大野城市中心市街地活性化基本計画

## <概要版>

便利なまち やさしいまち にぎわうまち

平成 30 年 3 月  
大野城市



# 1.計画策定の背景と目的

本市は、平成12年3月に『大野城市中心市街地活性化基本計画』（以下、前回計画）を策定しました。

前回計画は、西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（以下、西鉄高架事業）、都市計画道路等の都市基盤整備を一体的に進めていくための整備方針等を定めるものとして策定したものです。

西鉄高架事業や各種都市基盤整備事業の進捗により中心市街地の状況は変化し、また時間の経過とともに市民ニーズが多様化する中で、上位計画の見直しや中心市街地に関する計画が策定され、新たな事業等も計画、実施されています。

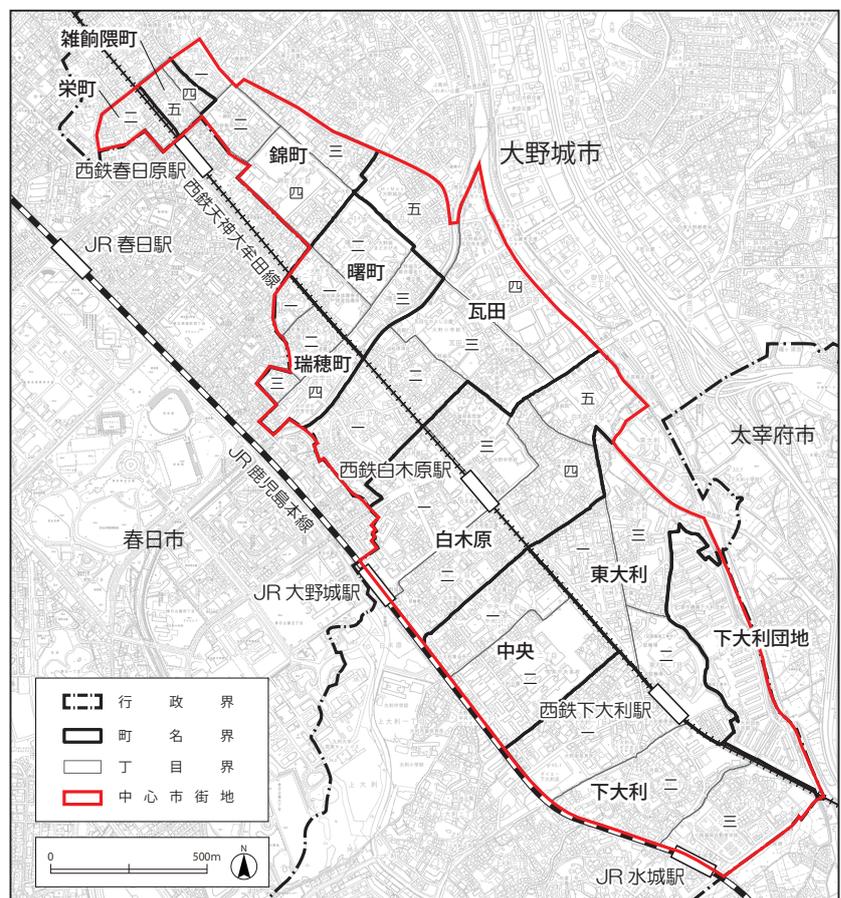
これら計画の策定状況や関連事業の実施状況等を踏まえると、中心市街地の活性化に向けた方針や取り組みについても見直す時期を迎えていると言えます。

今回の計画では、中心市街地の現状や市民意向を踏まえ、今後の目標、方針、取り組み等を明確に示し、中心市街地のにぎわいの創出を推進することを目的とします。

## 2.中心市街地の区域

本計画では、市役所等の公共施設、西鉄天神大牟田線の各駅（春日原駅・白木原駅・下大利駅）とJR鹿児島本線の各駅（大野城駅・水城駅）、各駅前の商店街、各駅の徒歩圏等に配慮し、複合的な都市機能が集積する中心市街地の区域（約228ha）を設定します。

図：中心市街地の区域



### 3.中心市街地活性化の目標

#### (1) 基本的な考え方

中心市街地では、西鉄高架事業、高架事業と連動した道路や公園等、様々な施設整備が推進されています。

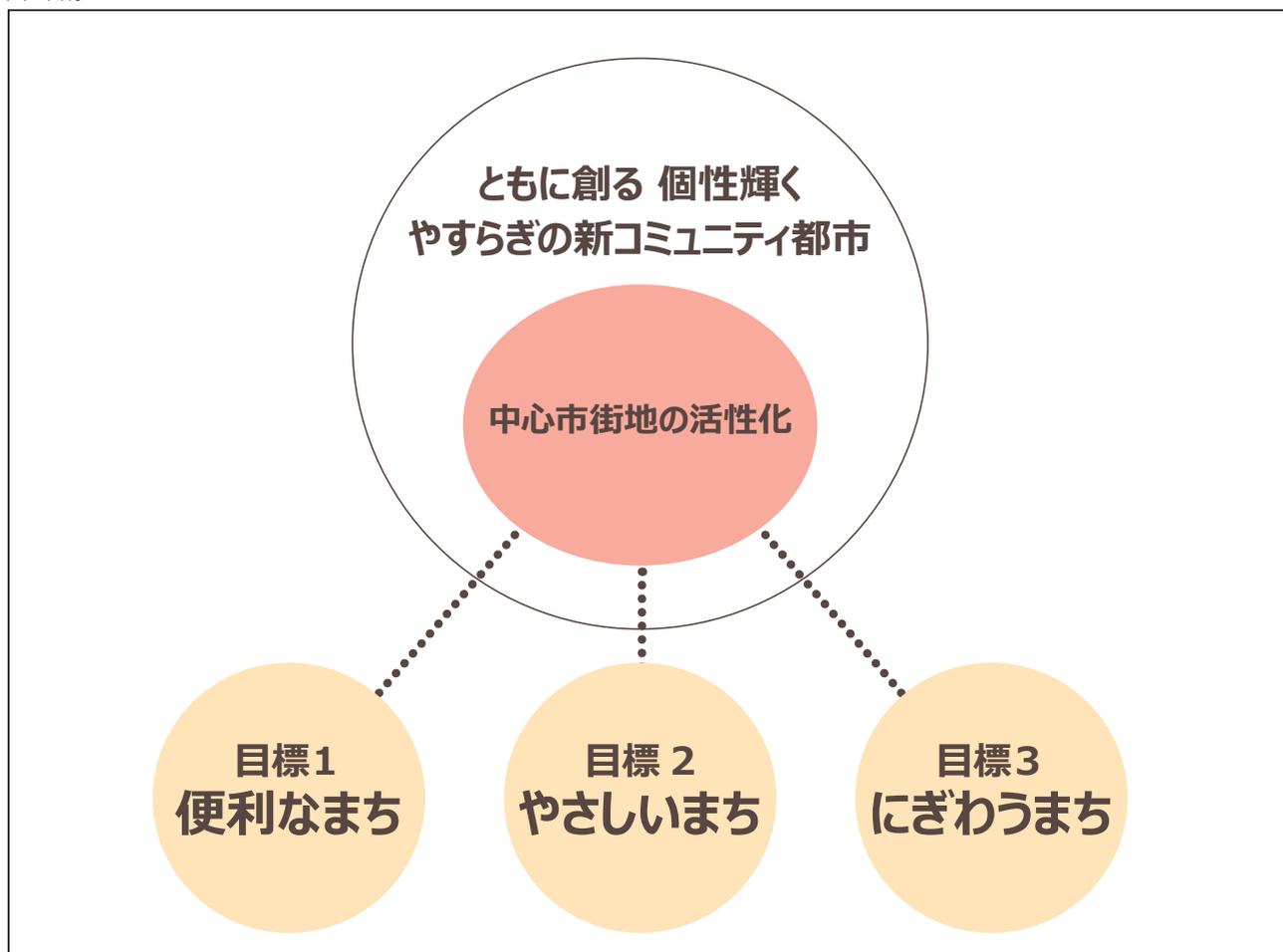
あわせて、市民参加による取り組みも広がりを見せています。

今後は、計画的な土地・建物利用の誘導との整合を図りつつ、施設整備の推進と市民参加の更なる拡大に取り組み、持続可能な中心市街地の活性化に結びつけていくことが必要と考えます。

#### (2) 目標

本市は、『第5次大野城市総合計画』に位置づけられる都市(まち)の将来像「ともに創る 個性輝く やすらぎの新コミュニティ都市」にふさわしい持続的な中心市街地の活性化に向けて、3つの目標「便利なまち」、「やさしいまち」、「にぎわうまち」を掲げ、その実現を目指します。

図：目標

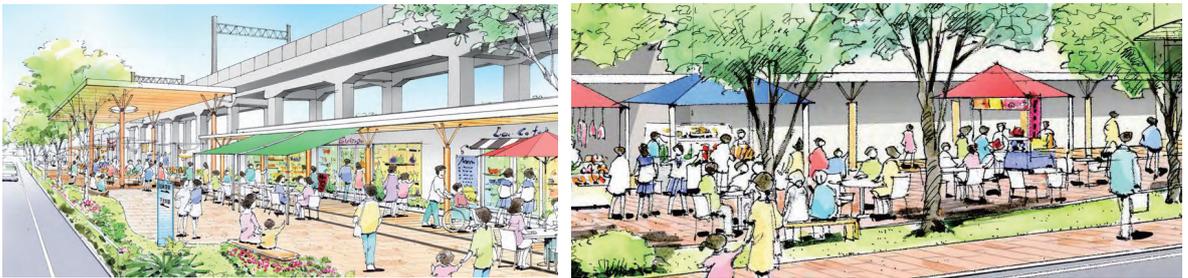


# 4.中心市街地活性化の方針

## (1) 便利なまち

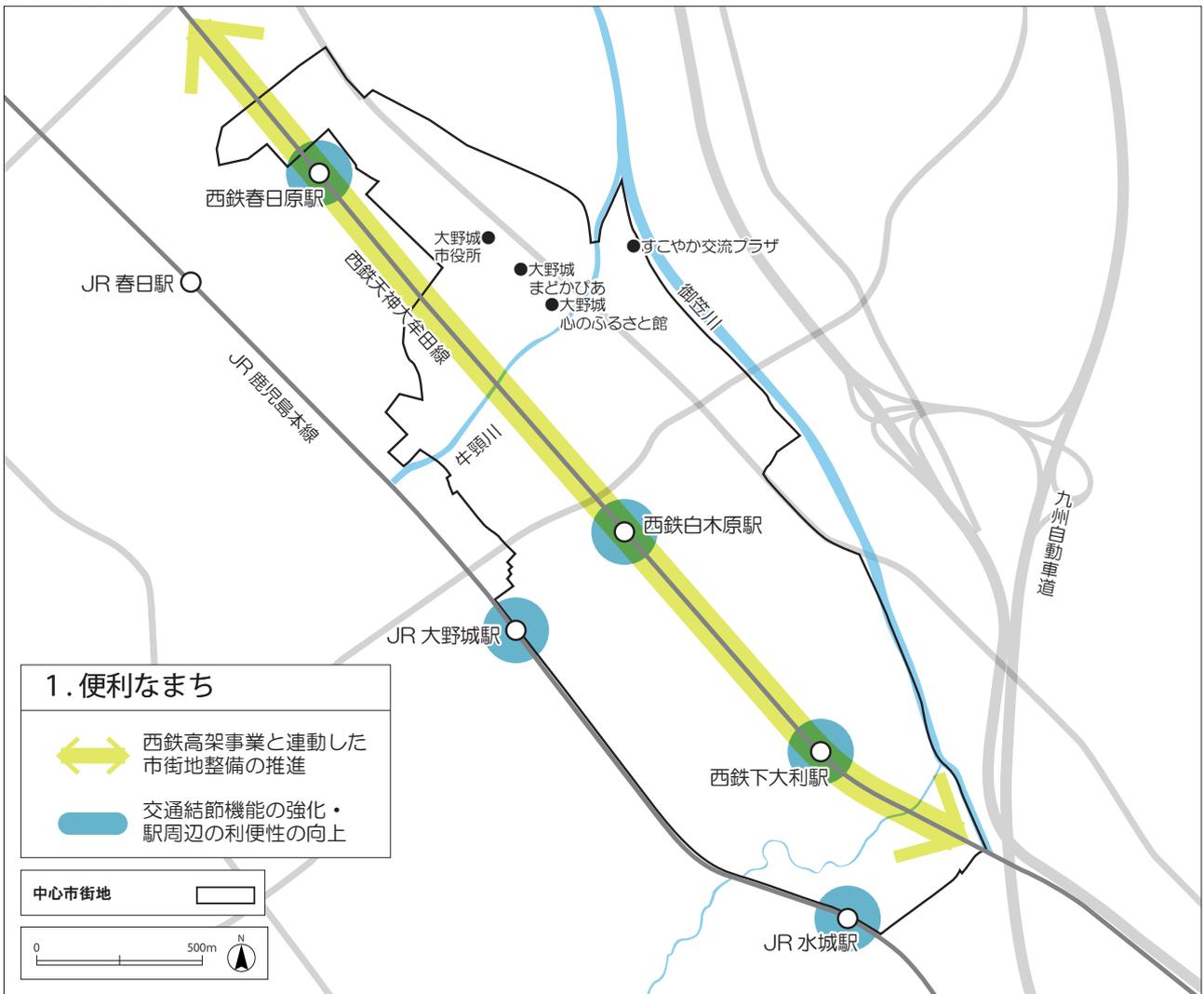
駅を中心に市民や来訪者に便利なまちの実現を目指します。

- 西鉄高架事業と連動した市街地整備の推進に取り組みます。
- 駅を中心として、鉄道・バス・タクシー・自動車・自転車等の交通結節機能の強化に取り組みます。
- 駅周辺における市民や来訪者の利便性の向上に取り組みます。



便利なまちのイメージ

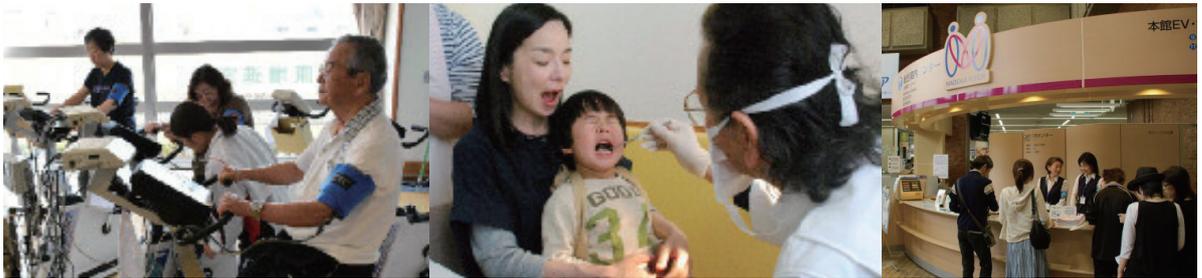
図：便利なまち



## (2) やさしいまち

子どもや高齢者等が過ごしやすい、暮らしにやさしいまちの実現を目指します。

- 公共施設が集積する市役所周辺を一体とみなし、全ての人々が利用しやすいよう機能の集約と強化に取り組みます。
- 道路や公園、その他公共施設等の整備を通して、多世代にやさしい市街地環境の充実に取り組みます。



やさしいまちのイメージ

図：やさしいまち



### (3) にぎわうまち

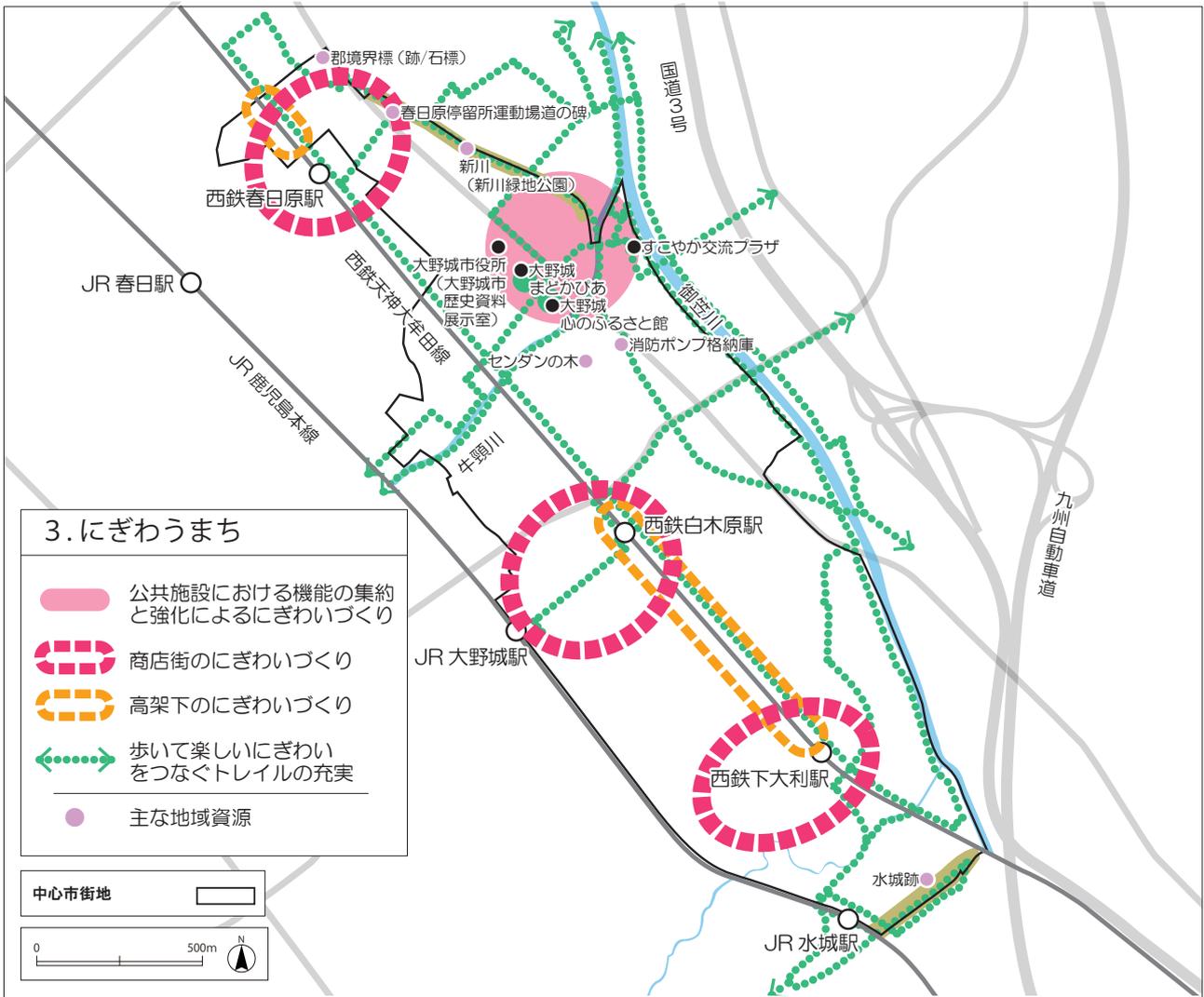
人々のつながりを育む中で、にぎわいが持続するまちの実現を目指します。

- 公共施設における機能の集約と強化によるにぎわいづくりに取り組みます。
- 商店会やにぎわいづくり協議会等と連携し、商店街や高架下のにぎわいづくりに取り組みます。
- 地域資源を活かすトレイルの整備と活用を通して、にぎわいの拡大に取り組みます。



にぎわうまちのイメージ

図：にぎわうまち



# 5.中心市街地活性化の取り組み

中心市街地の活性化に向けた主な取り組みを以下に示します。  
市民等との共働により、各取り組みの実現を目指します。

表：中心市街地活性化に向けた主な取り組みの一覧

目標	方針	取り組み
便利なまち	(1) 西鉄高架事業と連動した市街地整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西鉄高架事業の推進</li> <li>○西鉄高架事業と連動した側道整備の推進</li> <li>○下大利駅東土地区画整理事業等の推進</li> </ul>
	(2) 駅を中心とした交通結節機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西鉄下大利駅や西鉄白木原駅の駅前広場の整備</li> <li>○西鉄下大利駅東口のバスベイ（※）の整備</li> <li>○駐輪場の整備</li> <li>○公共交通の乗り換え等を円滑にする取り組みの充実</li> <li>○レンタサイクル導入の検証</li> </ul>
	(3) 駅周辺における市民や来訪者の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援施設等の充実</li> <li>○高齢者の健康・福祉施設等の充実</li> <li>○駅前観光情報スペースの確保</li> <li>○市民が利用しやすい多目的スペースの確保と利用を支える仕組みづくり</li> <li>○交番の適正配置</li> </ul>
やさしいまち	(1) 公共施設における機能の集約と強化による市民にやさしい環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援や健康づくりに関する機能の集約と事業の実施</li> <li>○時代のニーズに対応した効率的かつ効果的な行政運営</li> <li>○市役所の防災拠点としての機能強化</li> <li>○市役所での高齢者及び障がい者福祉機能の充実</li> </ul>
	(2) 多世代にやさしい市街地環境の充実	
	1) 子育てしやすい環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが自由に安心して遊べる公園等の充実</li> <li>○子どもを連れて公園等に行きやすい環境の充実</li> <li>○授乳やおむつ替えができるスペースを確保した施設の充実</li> </ul>
	2) 高齢者等が過ごしやすい市街地環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共空間のバリアフリー化</li> <li>○民間施設のバリアフリー化</li> <li>○「大野城心のふるさと館」等を活用した生きがいづくり</li> </ul>
にぎわうまち	(1) 公共施設における機能の集約と強化によるにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大野城心のふるさと館」や「大野城まどかぴあ」を中心とした市民が自由に活動できる空間の創出</li> <li>○「大野城心のふるさと館」と「大野城まどかぴあ」との連携強化</li> </ul>
	(2) 商店街のにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンスペースを活用したイベント等の開催</li> <li>○隣接する大型小売店とコラボイベントの開催</li> <li>○買物客が歩いて楽しい道路整備</li> <li>○路上等でのカフェやイベントの開催</li> <li>○各商店会の協カイベントの開催</li> <li>○集客力の高いテナントの誘致</li> <li>○空き店舗等の活用</li> </ul>
	(3) 高架下のにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雨に濡れない浴道又は高架下散策道の整備</li> <li>○人々が利用しやすい多目的スペースの確保と利用を支える仕組みづくり</li> <li>○立ち寄りやすい店舗や飲食店等の誘致</li> </ul>
	(4) 歩いて楽しいにぎわいをつなぐトレイルの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トレイルのルート沿いへのサインの設置</li> <li>○トレイルマップ等の作成</li> <li>○中心市街地を巡るイベント等の開催</li> <li>○人々が休憩しやすい場所の充実</li> <li>○御堂川沿いや特別史跡水城跡を活かすトレイルの整備</li> </ul>

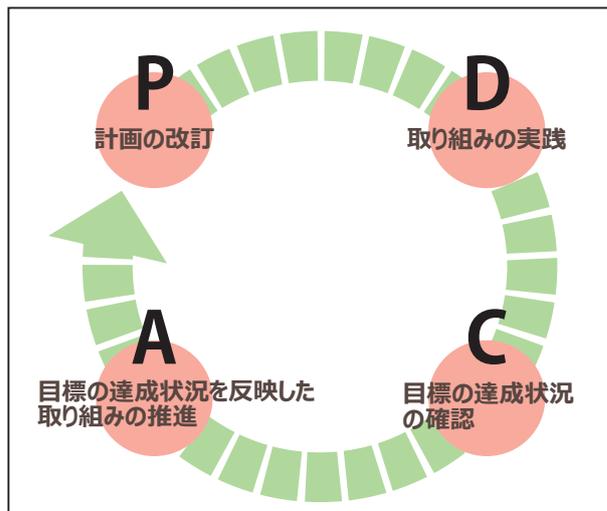
※「バスベイ」とは、バス停留所のある場所に、歩道に切れ込みを入れたような形で設けられる、バスが停車するためのスペースのことです。

## 6.今後の展開

図：PDCAサイクルの概念図

### (1) PDCAサイクルの実践

本市は、本計画を踏まえ、これから便利  
なまち、やさしいまち、にぎわうまちの実  
現に向けた取り組みを実践していきます。  
あわせて、目標の達成状況を確認し、次  
なる取り組みの推進や計画の改訂に反映し  
ていくことを目指します。



### (2) 目標の達成状況の確認について

目標の達成状況を客観的に確認するため、目標を定量化する指標と目標値を設定しま  
した。指標に掲げるデータは毎年収集し、更新するとともに、1年目、5年目、10年目には  
市民アンケートも実施します。

また、5年目、10年目を目途に「中心市街地活性化の達成状況確認会議（仮称）」を開催  
します。会議では、目標値の達成状況を確認・共有するとともに、中心市街地の活性化に  
向けた今後の取り組み、市民等と市の共働による中心市街地活性化のあり方、計画改訂の  
必要性等について検討します。

上記の成果は、市の公式ホームページで公開を予定しています。

表：指標の設定

目標	目標を定量化する指標		従前値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
便利な まち	中心市街地の 定住人口	中心市街地の利便性の向上を、定住人口の変化から評 価します。	29,685 (人)	31,100 (人)
	駅の乗降客数	公共交通の利便性の向上を、駅の乗降客数の変化から 評価します。	65,916 (人)	69,000 (人)
やさしい まち	中心市街地 に定住する 子どもの数	子育てしやすい環境の充実を、中心市街地に暮らす子 どもの数の変化から評価します。	5,466 (人)	5,500 (人)
	文化施設の 利用人数	多世代交流の動向を、施設の利用人数の変化から評価 します。	543,381 (人)	705,500 (人)
にぎわう まち	イベントの 開催数	中心市街地のにぎわいづくりの動向を、にぎわいづく り協議会や商店会が主催するイベントの開催数の変化 から評価します。	24 (回)	35 (回)
	商店会の 会員数	にぎわいづくりのポテンシャル（潜在能力）を、商店 会の会員数の変化から評価します。	190 (人)	200 (人)

大野城市中心市街地活性化基本計画〈概要版〉

発行 平成 30 年 3 月

編集発行：大野城市建設環境部都市計画課

福岡県大野城市曙町 2 丁目 2 番 1 号